

101 ルネサンス・バロック期の異時期同一人物表現

2024

真鍋友範

1 両者の表現上の共通点とは何だろう



通称《~~3人の哲学者~~》・正しくは中央の《船主への追悼》が適当だ
* ジョルジョーネの構想に基づく弟子ピオンボ担当の絵画作品と位置づけるのが妥当だろう。



《ロザリオの聖母》カラヴァッジョ作
* 二人のドメニコ僧の関係は、同一人物であることが分かる。

2 時間差のある同一人物を一枚の絵画に凝縮したいとき

ルネサンス期からバロック期にかけて、行われた表現は、遠近法やリアリズムの表現であるとは、広く知られている。

しかし、現代においては、あまり意識されることはないが、当時は普通に画面内において構想された表現に、【異時期同一人物表現】がある。

この、【異時期同一人物表現】の例は、ヴェネチア・ルネサンス期の画家ヴィッ

トーレ・カルパッチョの《聖ウルスラ連作物語》の中のフン族に襲われるウルスラと100人の召使いたちの場面で、【助命嘆願するウルスラ】と、【葬儀のウルスラ】が、同一画面において、数時間から数日の時間差で表現されている。

このような表現事例は、当時においては通常の表現であり、他の画家が各自の題材において、各々取り入れていても、不思議ではない。



《聖ウルスラの殉教と埋葬》 ヴィットーレ・カルパッチョ

従って、《船主への追悼》では、船大工または建築家に憧れた若者と、その後の立派な船主として成功した異時期の姿が、同一画面内に表現されていても、別に問題はないのだ。



1

同様に、カラヴァッジョの作品《ロザリオの聖母》に於いて、ドメニコ僧が二人いるように描かれていても、その内容を読み取ると、【異時期の同一人物】であることが判明するのだ。ただし、この場合の時間差は、数十年だ。



カラヴァッジョも、これらのヴェチア派の伝統をしっかりと受け継いだ表現に達している。画面左側は、聖母からのメッセージを受託する姿の聖ドメニコ僧が描かれ、画面右側には、その聖母からのメッセージに対して、自信を持って教徒たちに伝授しようとする聖ドメニコ僧が描かれている。この場合の時間差は、ドメニコ僧の僧の頭髪の状態から推測して、数年間の時間差があるように感じられる。

つまり、このルネサンス・バロック時代に於いては、異時期の同一人物が、同一画面内に平行して描かれる場合もあることを、現代人は知っておく必要があるのだ。